

6月19日 金曜日

4年生 算数『角とその大きさ』



### 算数科：「角とその大きさ」（4年生）

今年度、本校では「自ら学び、対話を通して考えを深める児童の育成」を研究主題に掲げ、算数科の研究を進めています。算数を学ぶ本質は、単なる計算技能の習得ではありません。「なぜそうなるのか」という根拠を基に筋道を立てて説明する論理的な思考力や、正解が一つではない未知の課題に対して自らルートを見出す問題解決能力など、子どもたちが社会をたくましく生き抜くための「一生の土台」を育むことにあります。

今回は4年生で研究授業を行いました。授業内容は、「角とその大きさ」です。子どもたちはこれまで、分度器を使って180度までの角度を測る学習をしてきました。今回の学習のめあては、「180度より大きい角の大きさをどうやって測るか」です。手元の分度器では一回で測れない大きな角を前に、子どもたちは知恵を絞りました。図形に補助線を引いて2つの角に分けて足したり、360度から引き算をしたり、分度器を工夫して合わせたりしながら、自力で答えを見つけていきました。「同じ考え方だね」「これなら簡単に計算できる!」と、友達の多様な考え方に触れ、互いに学び合う姿が見られました。今後も、対話を通して深く考える授業づくりに取り組んでまいります。